

プレス・リリース

ラッセル・インベストメント
野村証券株式会社

発信日： 2014年12月1日

『Russell/Nomura 日本株インデックス』年次銘柄入替

Russell/Nomura Total Market インデックスへの初めての組入れは 38 件に

ラッセル・インベストメントと野村証券はこの度、Russell/Nomura 日本株インデックス・シリーズの定期銘柄入替を行いました。今回の入替で、全上場銘柄の時価総額（浮動株調整済み）の98%をカバーする Russell/Nomura Total Market インデックスに、38 銘柄が初めて組入れられました。構成銘柄の詳細は、野村証券金融工学研究センターのウェブサイト (<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>) をご覧ください。

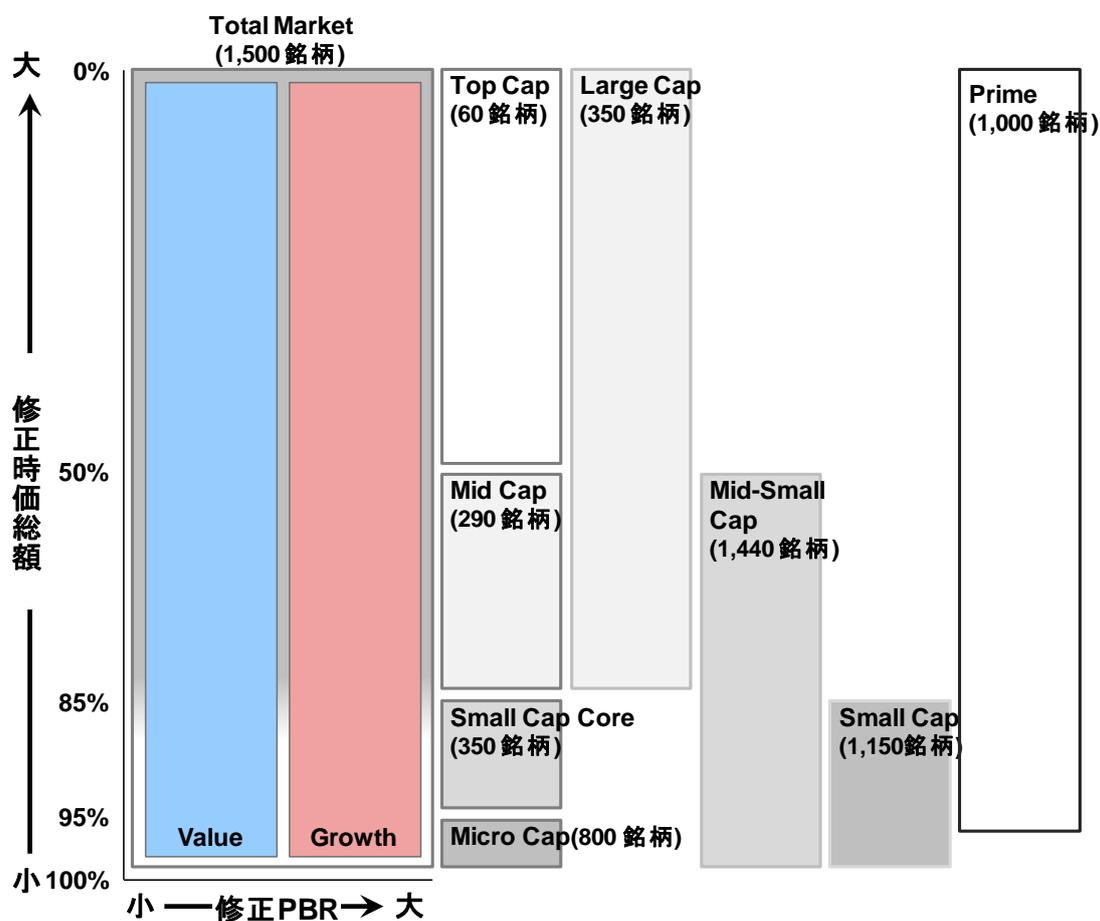
Total Value, Total Growth の回転率は過去最低水準へ

今回の入替により、Russell/Nomura Total Market インデックスは全体で 108 銘柄増加し 1,500 銘柄となりました。37 銘柄が除外され、145 銘柄が組入れられる中で 38 銘柄が初めての組入れとなりました。一方、同インデックスの全体の時価総額は 291.9 兆円から 296.3 兆円とわずかに増加しました（2014年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み）。

スタイル別インデックスに目を向けると、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の上位 85%で構成される Large Cap インデックスの構成銘柄は 50 銘柄増加し 350 銘柄となり、加えて Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の下位 15%で構成される Small Cap インデックスの構成銘柄も 58 銘柄増加し 1,150 銘柄となりました（図表1）。

バリュー、グロースインデックスにつきましては、Total Value インデックスの構成銘柄は 89 銘柄が除外となり 155 銘柄が組入れられ、Total Growth インデックスの構成銘柄は 86 銘柄が除外され、207 銘柄が組入れられました。Total Value インデックスと Total Growth インデックスの時価総額回転率はどちらも 11.7%となり（図表2）、1990年以降で最低水準となりました。業種別では、「輸送用機器」セクターでバリューへの比重の増加、「食料品」、「化学」、「情報・通信業」のセクターでグロースへの比重の増加が見られました（図表3）。

図表1 Russell/Nomura 日本株インデックスの体系



(注) 銘柄数は2014年12月定期入替後。

図表2 2014年12月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価構成比率			回転率 (片側)
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1392	1500	108	37	145	100.00%	100.00%	-	1.8%
Value	1037	1103	66	89	155	49.37%	49.36%	-0.01%	11.7%
Growth	685	806	121	86	207	50.63%	50.64%	0.01%	11.7%
Large	300	350	50	2	52	83.98%	86.17%	2.19%	3.9%
Value	194	225	31	14	45	38.84%	40.63%	1.78%	13.6%
Growth	197	233	36	19	55	45.14%	45.54%	0.40%	12.2%
Small	1092	1150	58	88	146	16.02%	13.83%	-2.19%	18.3%
Value	843	878	35	103	138	10.52%	8.73%	-1.80%	23.3%
Growth	488	573	85	100	185	5.49%	5.10%	-0.39%	34.2%
Prime	994	1000	6	21	27	98.05%	97.67%	-0.38%	1.5%
Value	737	740	3	58	61	48.02%	47.91%	-0.11%	11.6%
Growth	521	563	42	59	101	50.03%	49.75%	-0.27%	11.5%

(注) 構成銘柄は定期入替日時点。時価構成比率の計算は2014年10月15日の株価による。

回転率は「Σ |入替前時価比率 - 入替後時価比率| / 2」より算出。

図表3 Russell/Nomura スタイル指数の業種別時価総額ウェイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.0%	-	-	0.1%	0.1%
鉱業	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.1%	-0.1%
建設業	-0.6%	0.6%	-0.3%	0.4%	-0.7%	2.7%
食料品	-1.2%	1.3%	-1.3%	1.4%	-0.1%	0.8%
繊維製品	-0.2%	0.2%	-0.2%	0.1%	0.2%	0.4%
パルプ・紙	0.0%	-	0.1%	-	-0.3%	-
化学	-1.1%	1.0%	-0.8%	1.1%	-1.6%	0.7%
医薬品	-0.4%	0.4%	-0.4%	0.3%	-0.6%	0.4%
石油・石炭製品	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	-0.3%	0.1%
ゴム製品	0.1%	-0.2%	0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.1%
ガラス・土石製品	0.0%	0.0%	-0.1%	0.0%	0.4%	-0.1%
鉄鋼	0.3%	-0.2%	0.2%	-0.2%	0.6%	-0.1%
非鉄金属	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	-0.6%	0.0%
金属製品	-0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	-0.4%	0.6%
機械	0.0%	-0.1%	0.1%	0.0%	0.7%	-0.4%
電気機器	-0.8%	0.5%	-0.6%	0.7%	-1.5%	-2.0%
輸送用機器	4.5%	-4.5%	5.2%	-5.0%	0.5%	-0.8%
精密機器	0.1%	-0.1%	0.2%	0.0%	-0.2%	-0.3%
その他製品	-0.4%	0.4%	-0.6%	0.4%	0.4%	0.4%
電気・ガス業	0.0%	0.0%	-0.2%	-0.1%	0.1%	0.1%
陸運業	-0.3%	0.1%	-0.5%	0.1%	0.2%	-0.4%
海運業	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.1%	-0.2%
空運業	0.0%	-0.1%	0.0%	-0.1%	0.0%	-
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	-0.4%	0.1%
情報・通信業	-0.9%	1.1%	-1.3%	1.2%	0.3%	1.0%
卸売業	-0.2%	0.2%	-0.4%	0.0%	0.4%	2.7%
小売業	-0.3%	0.3%	-0.1%	0.4%	0.0%	-0.6%
銀行業	-0.2%	0.0%	-0.9%	0.0%	1.0%	-
証券・商品先物取引業	0.6%	-0.6%	0.5%	-0.6%	0.8%	-1.0%
保険業	0.0%	-0.1%	-0.3%	-0.1%	-	0.0%
その他金融業	0.2%	-0.1%	0.1%	0.0%	1.0%	-0.9%
不動産業	0.6%	-0.5%	0.7%	-0.3%	0.3%	-2.0%
サービス業	0.2%	0.0%	0.5%	0.3%	-0.2%	-1.3%

(注) 2014年10月15日の株価による。水色帯は Value インデックスのウェイトが1%以上増加した業種、赤色帯は Growth インデックスのウェイトが1%以上増加した業種を表す。

Russell/Nomura Prime インデックスへの初めての組入れは13件に

Russell/Nomura Prime インデックスは機関投資家のパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura 日本株インデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。今回の定期入替で初めて採用された銘柄は13銘柄となり、同インデックスの時価総額は286.2兆円から289.4兆円へとわずかに増加しています(2014年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)。同インデックスの時価総額回転率は1.5%と、3年ぶりの低水準となりました。

新たに採用された13銘柄のセクターに関しては「情報・通信業」が4銘柄と最も多く、それ以外で2銘柄以上の組入れとなったセクターはありませんでした。

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

1995年、野村証券とラッセル・インベストメントは、資産運用の運用実績を測定するツールとして「Russell/Nomura 日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、浮動株修正時価総額を基準に日本の市場に上場されている普通株式で構成されています。浮動株修正時価総額上位98%の銘柄で構成される Russell/Nomura Total Market インデックスを中心に、そのサブインデックスを含むシリーズとなっています。

当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回12月第一営業日に構成銘柄の定期入替を実施しています。構成銘柄は、10月15日時点（休日の場合は直近営業日）の浮動株修正時価総額によって順位付けされます。

定期銘柄入替後、合併・買収やその他の事由によって当インデックスから銘柄が削除される場合においても、次回の定期銘柄入替まで補充されることはありません。従って、各インデックスへの組入れ銘柄数は、年中に変動します。臨時で追加が行われるのは、スピンオフおよび新規上場によって大幅に構成比が低下する場合にかぎります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用サービスを提供しています。運用会社調査、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金、資産運用コンサルティング、運用執行、株式インデックスの開発など、提供サービスは多岐にわたります。ラッセルは、これら複数の運用サービスを組み合わせ、ポートフォリオレベルで投資家のニーズにお応えするマルチ・アセット・ソリューションをご提供しています。ラッセルのマルチ・アセット・ソリューションは、ポートフォリオ全体を俯瞰しながら、運用戦略をつぶさに分析することで、より多くの投資機会を発掘し、高い柔軟性とさらなる分散効果の向上を目指して構築されています。

米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、運用資産総額は約30兆円※です。日本においては1986年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

※2014年9月末現在 グループ合算、為替換算レート:109.69円/ドル、運用資産残高には、オーバーレイ運用を含みます。

野村証券株式会社について

野村証券株式会社は、野村ホールディングス株式会社を持株会社とする金融サービスグループ「野村グループ」のコア業務である証券業務を担う中核会社です。国内で展開する本支店数は159(2014年11月30日現在)。野村証券に関するより詳細な情報は <http://www.nomura.co.jp/> をご覧ください。なお、「野村グループ」に関するIR情報やニュースリリースなどは、野村ホールディングスのサイト <http://www.nomura.com/jp/> にて掲載しております。

お問い合わせ先:

ラッセル・インベストメント

【米国窓口】

Russell Investments
Public Relations
TEL: +1-206-505-1858
E-mail: newsroom@russell.com

【日本窓口】

ラッセル・インベストメント株式会社
マーケティング&コミュニケーション部
TEL: 03-5411-3790
Email: Tokyo-RIJ@russell.com

野村証券株式会社 金融工学研究センター
クオンツ・リサーチ部
インデックス・プロダクツ・グループ
TEL: 03-6703-3986
E-mail: idx_mgr@frc.nomura.co.jp